

1 社長年頭所感

あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。平成21年 元旦

お客さまの喜ばれる顔や声が、
私たちのモチベーションアップの原動力となっています！

現場スタッフと、「キレイ」について語り合う活動を2007年11月から続けています。



『ひとをよろこばす達人』になろう！

2007年から続けている、「キレイ」に真剣！の伝播活動や現場責任者会議から、皆さんと「キレイ」について語り合ってきました。お客さまの“ありがとう”から“よろこび”を学び、そして、現場から生まれた清掃やコミュニケーションの貴重なノウハウなど多くの情報を集めることができました。私が直接現場を訪問し、みなさんと膝を交えながら一緒に考えることが大切だと感じています。本年もより多くの現場に赴き、よろこびのサイクルを一緒につかっていきたいと考えています。

“お客さまをまっすぐ見る”

この経済不況のなか、当社をとりまく事業環境も大変に厳しいものが予想されます。信頼される企業、そして選ばれる企業となるため、お客さまのことを思い、一人ひとりが役に立つことよることでもらえることを自ら進んで行き、コツコツ地道な努力を積み重ねていきましょう。

2009年、当社の年賀状は『浄美社の顔！』をテーマに、現場スタッフの方々をメインに制作しました。

代表取締役社長 滋野好史

2 “プロ”としての意識を高めるために、行動しよう！

「月間目標」を決めて実践する。

ある現場（M社）で、責任者が巡回して不備があると感じたところを「月間目標」と決めて、全員に実践してもらっています。

例えば、「今月は清掃道具の整理整頓を徹底する」や「トイレの間仕切り上のほこりに注意する」などひとつを月間目標として掲げ、責任者が抜き打ちで点検し、結果を全員に発表して共有します。厳しいですが、これを繰り返すことで、ひとり一人がとてレベルアップしたそうです。

今月の目標
清掃用具の整理整頓を徹底する。



このような取組みを、今後、各現場で取り入れていこうと考えています。



優良企業にするために総合的支援を職とするプロの方から、キレイにしていると褒められたことで、お客さま（M社）もとてもよろこんでおられます。毎日いつも通りにキレイにしていることが、このような評価につながりました。

3 用具の衛生管理について

清掃用具は、大事なパートナーです。
用具の管理も大切な業務です。
みなさん、用具の管理はできていますか？

お客さま、患者さま
建物を利用される方々から
見られますよ...



（写真は例です）
現場によって清掃用具は
異なります。

＜清掃前には・・・＞

不備や破損、汚れや埃が付いていないか確認
もしあった場合は、修理・交換・汚れ・埃の除去を行った後、使用してください。
故障や欠陥があるのに無理をして使用したり、汚染の恐れがあることを知りながら使用することはしないで下さい。

＜清掃中は・・・＞

清掃道具の色を混合しない

色分けしているのは、清掃場所の清潔度が異なるためです。色を混合してしまうと、清潔度が高い場所に汚染を持ち込む可能性があります。道具の保管・洗浄の時にも、清潔度が異なるものを一緒にしないでください。

血液等の付着、汚れの著しいものは消毒する

血液等の付着のおそれがある場合や汚れ著しい場合は、他の道具とは混合せずモップ漂白剤溶液によって消毒を行いましょう。

清掃道具の整理整頓

清掃箇所から一時的に離れるときも、清掃用具は整理整頓し、他の方の邪魔にならないようにしましょう。

正しい使用法を守る

定められた目的以外の用途に使用したり、勝手に改造してはいけません。

＜清掃後は・・・＞

点検とメンテナンス

清掃終了後に点検し、汚れや埃がある場合は湿式清拭してください。

保管場所は守り、整理整頓

決められた場所以外には置かないで下さい。カートや保管場所は整理整頓しましょう。